

令和7年度 地域振興費事業 自然保護体験モニターツアー 実施報告書 (参加者アンケート分析結果)

令和8年(2026年)1月
諏訪地域振興局環境課

1

事業概要

自然保護体験と地域資源を組合せ、商品化への実現可能性・課題を探る目的で、モニターツアーとして実施するもの

1. 取組のねらい

※企画概要資料より抜粋

利用者目線のモニターツアーにより評価・意見
収集し、ツアーとしての実現可能性を探る

エコツーリズム協会が例年実施する、エコツアーアンケート調査結果との比較・分析が可能となり、自然保護体験ツアー実施の課題・難易度から商品化を検討することができる。

【モニターツアーを行う理由】

- 1.自然保護体験(実践型)をテーマとしたエコツアーは全国的に事例が少なく、独自性はあるものの継続的な環境&観光の商品となるかは未知数。
- 2.地域経済システムとして機能するには、組織体制も必要であるが利益を上げられる・地域に寄与する商品となるかの視点は検討に不可欠。
- 3.諏訪湖及び霧ヶ峰の観光ポテンシャルは高いうえ、霧ヶ峰自然保護センターや諏訪湖環境研究センターなど関連施設・ガイド人材はある程度整っている恵まれた環境。

3. 取組内容

※企画概要資料より抜粋

諏訪湖(ヒシ刈り)

【開催時期】

6/28(土)・7/27(日)
[予備:7/5(土)・8/2(土)]



【実施内容】

事前学習→作業→学習→温泉

【活用する地域資源】

カヤック体験、温泉

【期待するアウトカム】

- ・体験以降で作業参加者増
- ・参加者の再来訪

霧ヶ峰(草原整備)

【開催時期】

8/30(土)・9/20(土)



【実施内容】

講習→作業→見学
(各行程間の交通手配)

【活用する地域資源】

自然保護センター、草原環境

【期待するアウトカム】

- ・体験以降で作業参加者増
- ・参加者の再来訪

各回20名(定員)として募集・実施したところ

計76名の参加があった。

(最終回のみ天候不良によるキャンセルにより16名で実施)

2

アンケート項目・引用資料について

例年、日本エコツーリズム協会が実施している「エコツーリズムに関する消費者ニーズ調査」※1を参考に、以下の項目を設定。

※1:引用する場合は、以降「協会調査」として、図表は赤枠囲みで記す。この調査結果は2024年発表のもの。

- ①回答者プロフィール
②環境に対する意識
③エコツアーに関する経験の有無(経験がある場合、内容を追加質問)
④モニターツアーの評価(金額的な評価も含む)
⑤モニターツアー参加後の意識の変化、ボランティア参加意向

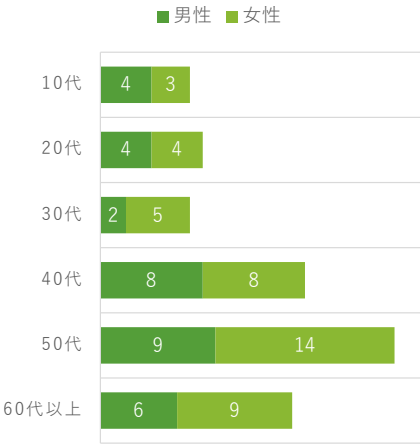
先行して調査している同協会アンケートと比較検証できれば理想であるが、境界調査は首都圏を中心に年代層別に人数設定し、幅広くアンケート収集を行っている点と、参加募集の時点で地元を中心とし、参加者に限って収集した本事業では、母数差・収集範囲・年代・地域差※2も大きい。
そのため、本報告内では協会調査については比較対象としつつ、参考資料として抜粋し用いている。

※2:協会調査についても、エコツアー参加者に限定した項目は、母数が限られている。全母数は500だが、参加者に限定した回答は50程度となっている。

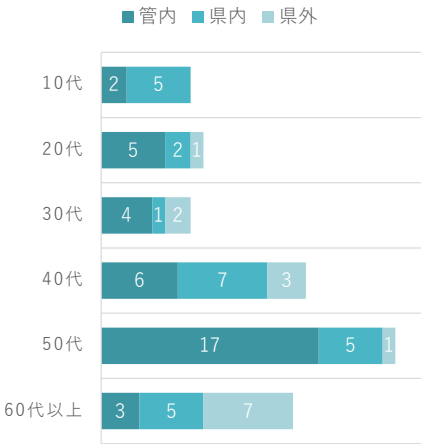
3

参加者像

地元・県内を中心に告知し、50代を中心に参加があったが体験作業先の告知で知った、県外からの参加も18%超あり。



【総数】男性:33名／女性:43名
※10代の参加者は、親との同伴参加によるもの

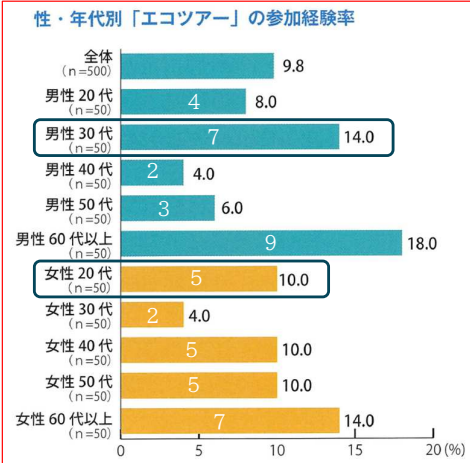
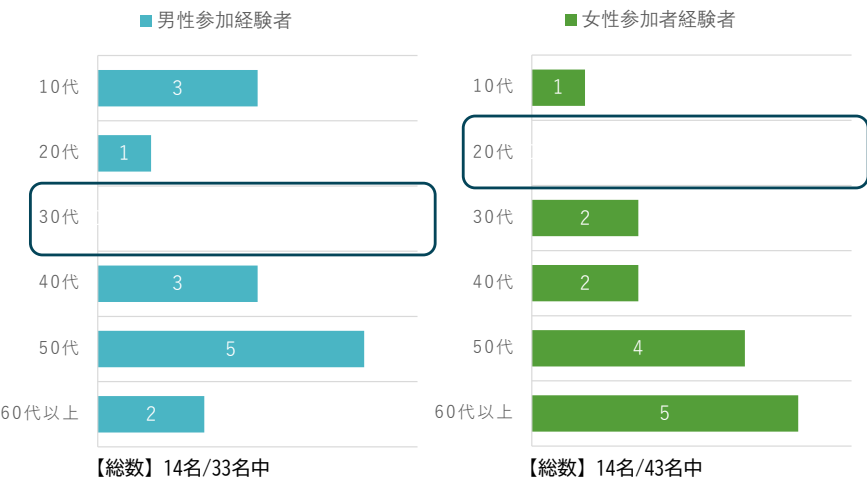


【総数】管内:37名／県内:25名／県外:14名
【県外からの参加者 居住地】
埼玉県、東京都、神奈川県、山梨県、愛知県、京都府

4

参加者像(エコツアーの経験)

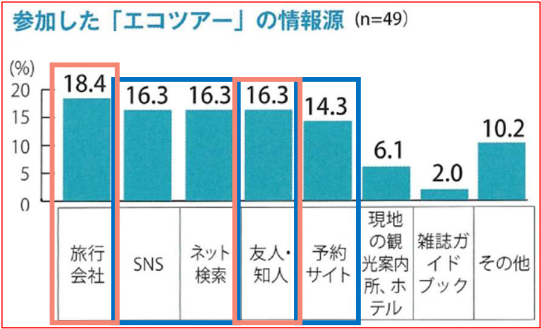
既にエコツアー経験者の参加が多く、特に50代以降の経験者が多い反面、30代以下は少ない傾向。



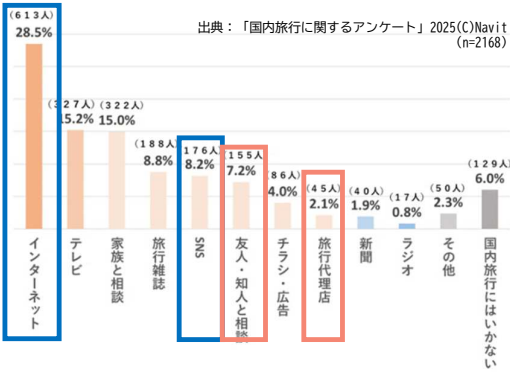
協会調査は、首都圏居住者からアンケート結果が各年代層で一定人数 (n=50) となるよう設定し収集しているため、若年層の回答も一定数存在していると推測。モニターツアーは、参加者の回答のため、申込している時点で環境活動への意識が高く、このような作業に複数回参加していると思われる、協会調査の参加経験率9.8%に対し36.8%となった。

(参考)旅行に関する情報源

旅行に関する情報源は、インターネットが突出。エコツアーに限った場合では、友人・知人や旅行会社なども情報源となる。



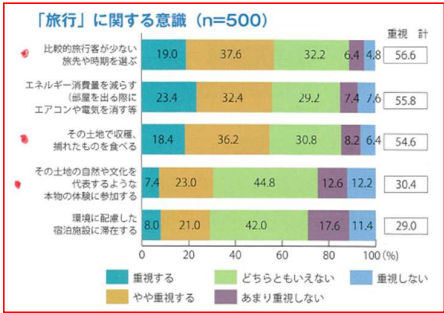
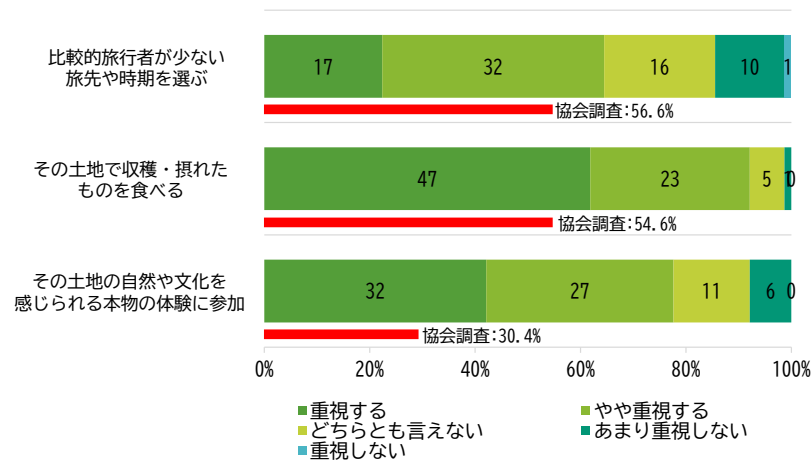
協会調査でのエコツアー参加者に限定した情報源に対する設問では回答率は1割程度であった。旅行会社で知るケースが最も多かった(18.4%)ものの、SNS・ネット検索・予約サイトなどネットを情報源としているケースが相対的に多い(46.9%)結果となった。旅行会社や友人・知人も高い(34.7%)結果になっている。



株式会社ナビットが20代~80代の男女を対象に行った、旅行の情報源に関する調査では、ネットを情報源とする回答が突出(36.9%)する結果となった。旅行会社や友人・知人については9.3%と、協会調査と比較すると、その差は3倍程度あり、エコツアーに限れば人づての薦めは有効と推測される。

旅行に対する意識

協会実施アンケートから抜粋した3項目では、訪問先での体験・土地を楽しむことを重視している傾向。

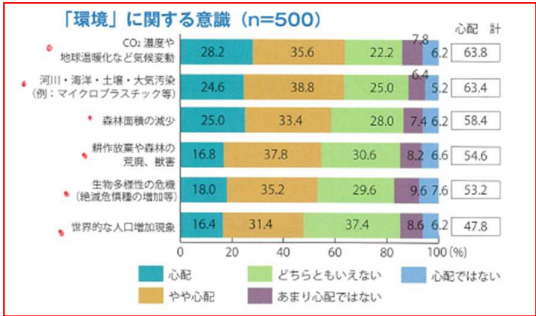
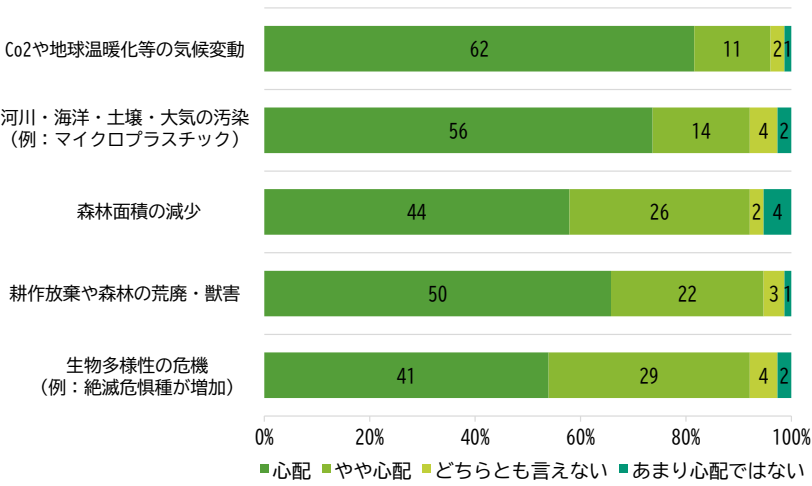


協会調査（項目抜粋）では、その土地を楽しむことを目的としている回答は概ね30～55%。回答に、旅行しない人も回答者に混在しているため、低い結果と推測される

ボランティア作業は閑散期に行われる点や、その土地に思い入れをもつ可能性の有無を把握するため、項目を絞りアンケートを行った。ツアー参加者の回答としては、その土地の食事や文化を楽しむ傾向があり「本物の体験に参加」では、倍以上の傾向差が生じた。

環境に対する意識

すべての項目において「心配」「やや心配」を合わせた数値は90%を超えており、参加者の意識は高いと判断できる。



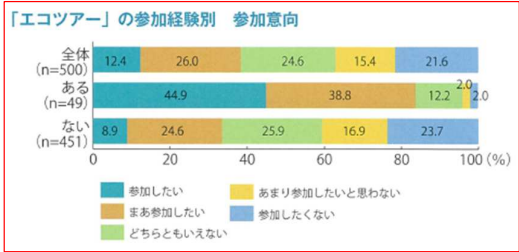
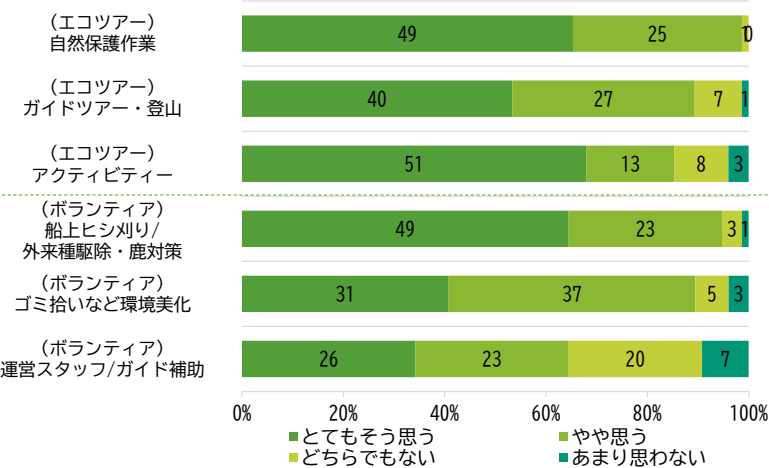
協会調査（項目抜粋）では「心配」「やや心配」の数値を合わせ、概ね53～64%となっている。

いずれの項目においても「心配」「やや心配」を合わせた数値は90%を超えており特に地球温暖化や環境汚染に関する不安度が高い結果となった。

エコツアー・ボランティアへの関心

殆どの参加者が、今後何らかのエコツアーに参加意向を示す。
ボランティア作業の参加意思も、積極的な回答となった。

エコツアー（自然保護作業）に参加したいと回答した数及び
今回実施した作業にボランティアで参加したいと回答した数
（「とてもそう思う」「ややそう思う」の計） **75人/76人**

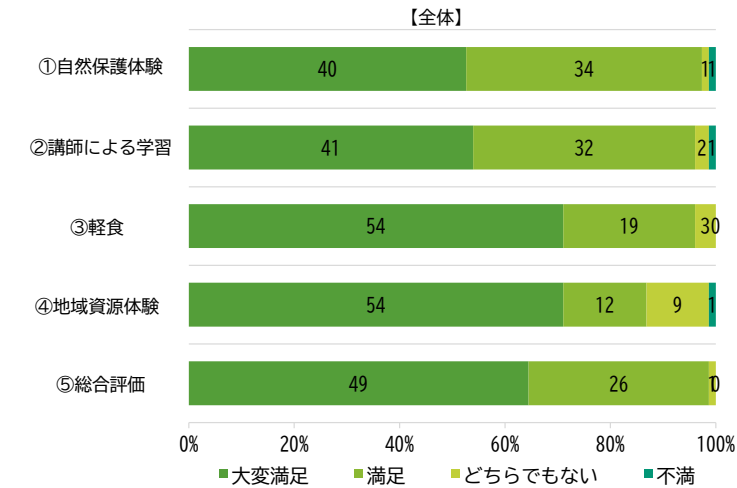


協会調査では、参加経験の有無とともにエコツアーに対する参加意向のみを集計しているが、エコツアーの具体的な内容について尋ね、さらにボランティア作業としての意向を確認している。

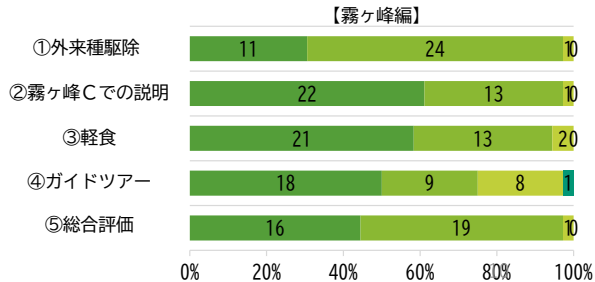
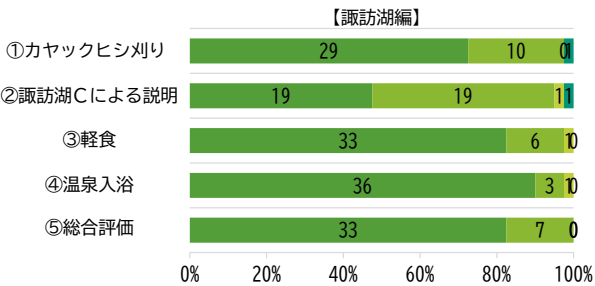
ボランティア作業では、体験した内容と同作業についての意向が高く、環境美化についても良好な反応が得られている。

ツアーの評価①

殆どの方が総合評価として「大変満足」「満足」を選択したが
今回は参加費が無料のため、評価自体は甘口と思われる。

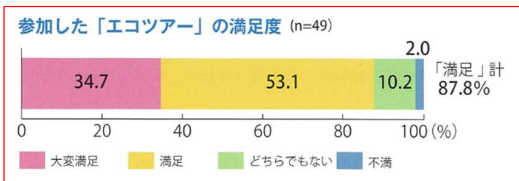
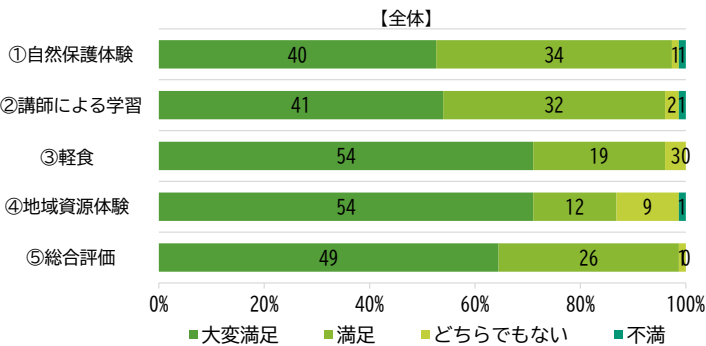


概ね「大変満足」「満足」という回答が多い中、霧ヶ峰編④の評価は9月開催回の天候が雨となり、当初計画したとおりの屋外ツアーが出来なかったことによる影響が評価に反映されている。

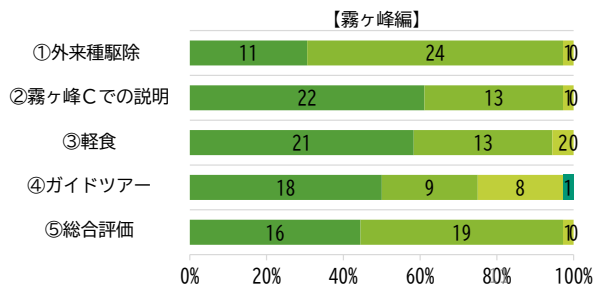
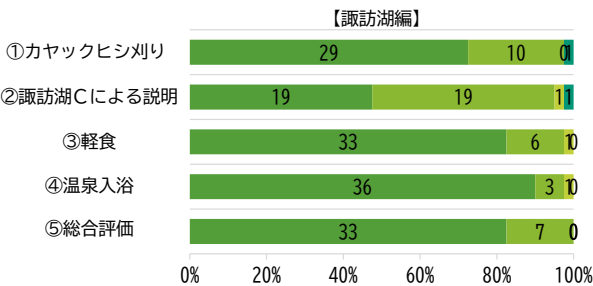


ツアーの評価②

体験と学習要素については「大変満足」「満足」は96%超と満足度が高い結果となった。



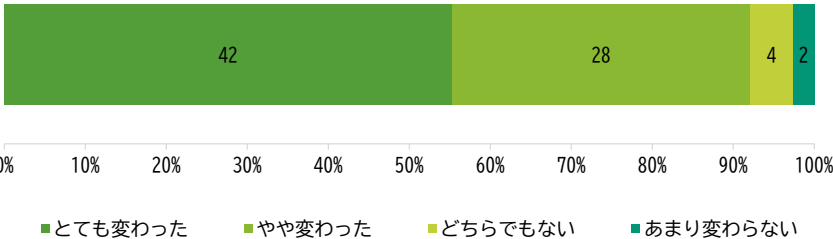
協会調査でも「大変満足」「満足」計は87.8%と比較的高い結果となっている。環境問題や自然保護に関心意識が向いている者が参加していることから、満足度は高いものと推測される。



認識の変化

それぞれの場所に対する認識変化は「とても変わった」55%「やや変わった」37%と、『体験』による効果は見込める。

体験した場所への
認識変化



自由記述では、諏訪湖に対する良くない印象を持っていたが、水に触れたことで変わったという感想が散見された。また、霧ヶ峰についても野放しで整っているものと思っていた方が多く、今回をきっかけに認識を変えることができたのは成果ともいえる。

【参考】

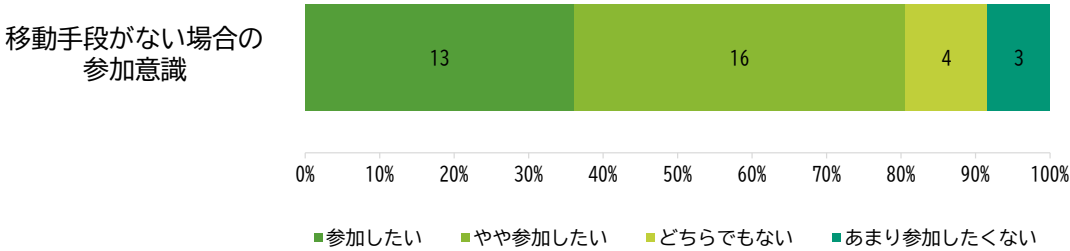
自然保護に関する体験効果について、有効性が認められるとされた研究論文は国内外で発表されている。以下はその例。
「ボランティアプログラムへの参加が、参加者の自己報告に基づく環境配慮行動を時間とともに増加させることを示しました。活動を通じて自然との繋がりが深まることさらなる保護行動の動機付けとなっています。」^{*1}
「52の効果量を対象とした大規模な分析により、自然との直接的な接触（体験）と保護行動の間に一貫した正の相関があることが示されています。」^{*2}

^{*1}:" Understanding the impact of volunteering on pro-environmental behavioural change" (2014 Seymour V.,King M.,Antonaci R. (2018))概要より和訳

^{*2}:" Do people who experience more nature act more to protect it? A meta-analysis" Masashi Soga,Kevin J.Gaston(2024 Biological Conservation Volume 289)概要より和訳

移動手段に関する設問(霧ヶ峰)

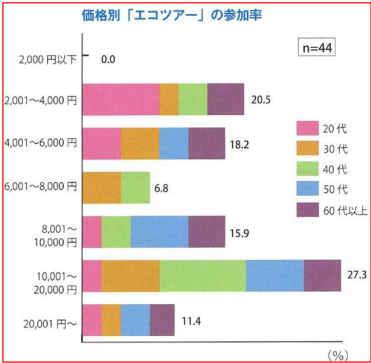
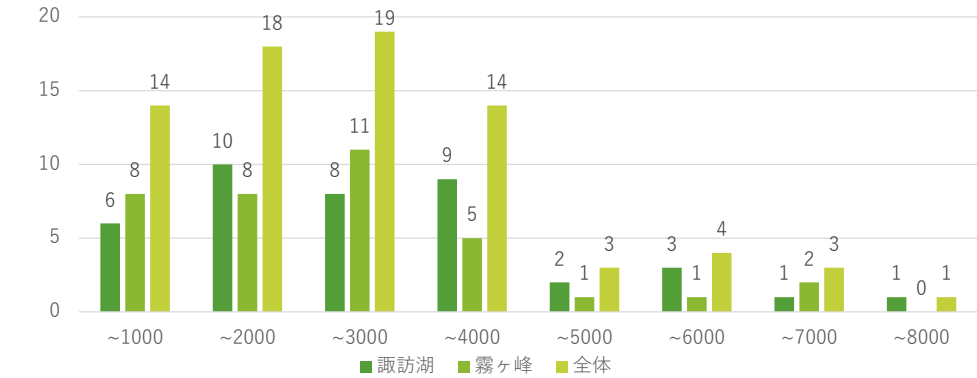
霧ヶ峰については、移動手段(バス)有無による参加意思を尋ねたところ、自力移動でも一定数は参加が望める結果に。



自由記述では「悪天候で霧もあり、バスで送迎いただけたのも安心感があった」という感想もあったがバス乗車場所まで車で来ていた者が多数いたことも踏まえると、アンケート結果のとおり、移動手段のウエイトはそう高くないものと推測される。

金銭的評価

諏訪湖・霧ヶ峰ともに実質7,000円の費用を要したものの参加者の金銭的評価は、全体平均2,500円程度となった。



	金銭的評価		外れ値5%除外		経験者のみ		階層別該当者数 (円/人)							
	平均	中央値	平均	中央値	平均	中央値	~1,000	~2,000	~3,000	~4,000	~5,000	~6,000	~7,000	~8,000
諏訪湖	2,735	2,500	2,600	2,375	3,507	3,000	6	10	8	9	2	3	1	1
霧ヶ峰	2,247	2,000	2,238	2,000	2,433	2,000	8	8	11	5	1	1	2	0
全体	2,504	2,500	2,478	2,500	2,932	2,000	14	18	19	14	3	4	3	1

費用が高くなければ参加したい傾向が表れた。その中でもモニターツアーなどの経験者は金銭的評価が高い傾向があった。協会調査でも、未経験者は指標となる基準がわからないため、低くなりがちであると認知されている。

ここまでの整理

【参加者像】

- ・参加者年齢層は50代を中心とし、**全体的に40代以上が多い**
- ・**環境に対する意識が高く、旅行先での体験・地のものを好んで楽しむ**
- ・情報源はネット以外に、友人知人など**人づての情報に期待も**

【体験効果】

- ・**体験により認識変化**があり、ボランティアへの参加意思が見られる
- ・全体評価は総じて高かったが、**体験作業のみでも評価は高い**

【ツアーの評価】

- ・金銭評価は平均2,500円前後の評価と、**実費用と乖離**
- ・**交通手段の提供**は、参加意思に**あまり影響を及ぼさない**

15

総評として

参加者の認識変化に繋がり、体験の機会提供による**関わり手増加に期待**できるものの、課題があり**ツアー形式での実施は難しい**ため、手段としては検討が不可欠。

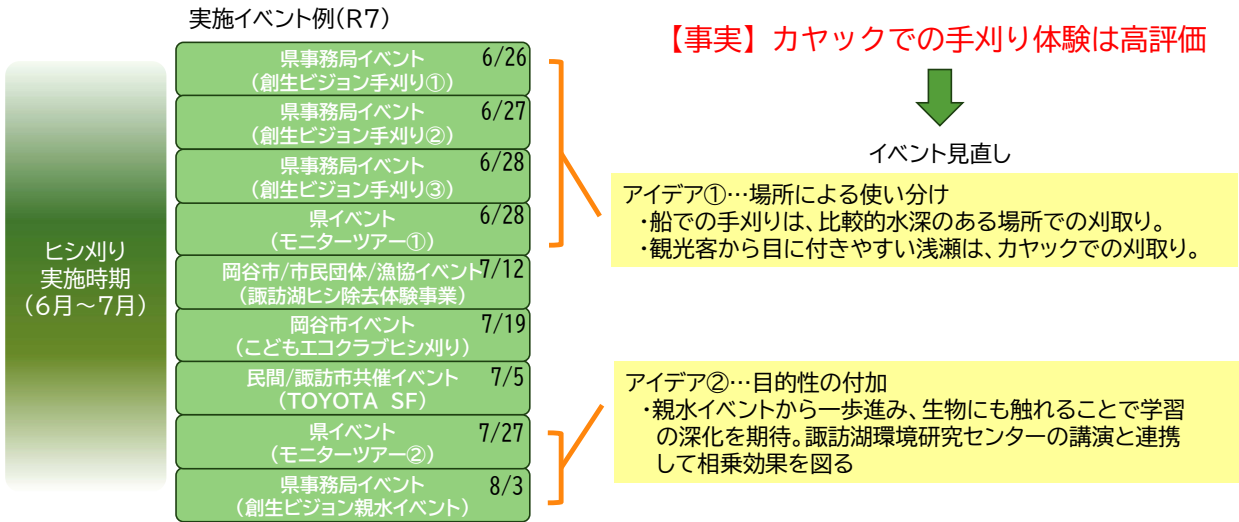
【理由】

体験による**認識変化割合が高く**、ボランティア作業への参加意識向上に繋がる可能性がある。
しかし、**実費と評価額に2倍超の乖離**があり、ツアーとしての成立は、現状では困難

16

想定される今後の取組アイデア(諏訪湖)

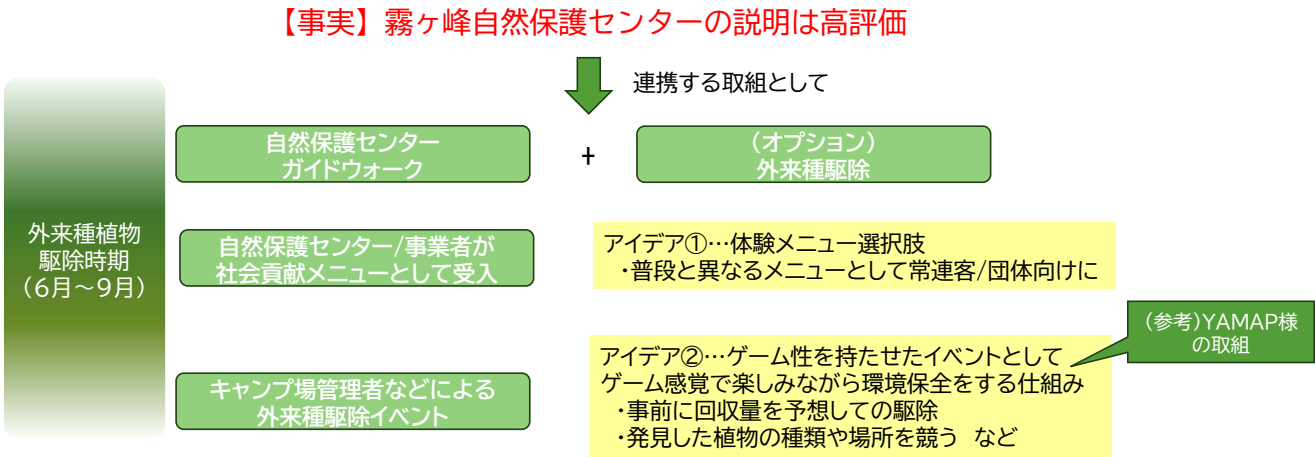
ヒシ刈りの時期が限られることで、似たイベントが続く状態。
関係者等と調整した上で、イベントの中で実施。



17

想定される今後の取組アイデア(霧ヶ峰)

霧ヶ峰自然保護センターで実施しているエコツアーの
オプションとしての展開や、民間の社会貢献での活用。



18

ツアー評価コメント(諏訪湖)※回答時にコメント入力があったもの

身近な問題でも、体験をしてみないと理解を深めることは難しいと感じた	自然について考えることができました。水草の有効利用ができれば良いなと思いました。
個人的には、諏訪湖に関する学習（ヒシについての学習）→カヤックでのヒシ刈りという順番でも良かったように感じました。諏訪湖に関する学習の中で、ヒシ刈り中の出来事（見掛けのトンボ、水草に産み付けられた卵、ヒシを食べる小さな虫、テナガエビ…）を振り返る場面が多かった為、予め知っていれば「さっき研究員が話していた…」といった具合に理解が更に深まると思ったからです。また、予想以上にヒシ刈りが重労働だったので、事前にヒシの構造（長さや種の鋭さなど）がわかっていたら、心構え？が出来たように感じます。	菱を見たことが無かったので参加したのですが、たくさんとれて楽しかった。カヤックも楽しかったし、温泉も良かったです。展望風呂だったので自分たちが作業したところが眼下に望めてよかったです。お話も楽しかった。菱以外の諏訪湖の話ももっと聴きたかったのと、研究の話も興味深かったです。
普段経験することがないカヤックに乗って水面に近いところからヒシを探る体験ができて面白い。	地域のことが知れる貴重な機会であるとともに、観光体験としても魅力があると感じた。
自分の手でヒシがりでできて良かったです。環境研究センターのお話も興味深くヒシも取りすぎてしまっても生態系に影響があることを知りとても勉強になりました。またカヤックも初めて体験できて気分爽快でした。	ヒシ刈り体験はとても楽しく、諏訪湖の学習はとてもわかりやすく、お弁当も温泉も最高でした。偶然のご縁で参加させていただきましたが、本当に貴重な体験でした。温かい雰囲気、ボランティア活動にも興味が湧きました。
カヤックに乗ること自体が、興味がなければ一生に一度くらいかもしれないので貴重だった。諏訪湖について、特に今までは「温暖化で近年は御神渡りもなく、汚い湖で住人がきれいにしよう」と努力している」程度の認識だった。自分でヒシの繁殖を見て、自分の力で巻き上げ、だんだん綺麗になっていく様は、環境に対していっときでも貢献できた、と満足感があつた。元々環境に対しては非常に関心があったため、もし諏訪湖周辺に住んでいたら、ヒシ狩りボランティアに参加したいと思った。	カヤックは諏訪湖面がより身近見え、こんなに近くに見る事がなかったので、岸から初島の方まで漕ぎ出し、湖の状況が以前より理解できたように感じられました。ヒシの狩り方やカヤックの乗り方も丁寧に教えていただき、ヒシ狩りも夢中でやって楽しい体験でした。近くにあるホテルの展望風呂も普段利用する事がないので、観光客目線でもどんな風に諏訪湖が見えるのか、どの様に感じているのかが体験でき良かったです。作業の後、とても気持ち良く、いい体験ツアーに参加させていただきました。
自然を観光で楽しむ際は合わせて個人個人が保護・維持・改善に繋がる行動を少しでも取りたいと思えました	カヤック初めてでしたがとても楽しかったです。元々ヒシがりにには興味があったので、カヤックに乗りながらできたのはとても良かったです。諏訪湖の学習とてもわかりやすかったです。
諏訪湖は、県内の他の湖と比べて、「汚い」というイメージがありました。様々な環境改善に取組み、最近では諏訪湖で泳ぐイベントもありますが、諏訪湖の水を触るのは、抵抗があるなぁと思ってました。今回のツアーに参加し、カヤックで湖上に出るのは気持ちよく、全身、諏訪湖の水で濡れたけど、不快ではなかったし、ヒシ刈りも楽しい体験でした。諏訪湖に対して、親しみが湧き、またこのような体験ツアーがあれば、参加してみたいです。	諏訪湖というロケーションで、普段することが無い体験ができた。軽食もボリュームがあり、温泉まで入れて頂いて、無料体験としては大満足でした。またほかのロケーションでも役に立てることや、新しいことを体験してみたいと思えたキッカケでした。
今回の体験や学習を通じて、環境美化及び環境保全等にお役にたてることがあれば率先して行動したいと感じた	今回参加するにあたって、諏訪湖の環境について、匂いや水質など、心配がありましたが、全く心配なく楽しむことができた。
カヤックとても楽しかったし、たくさんヒシを取ると満足感がある	環境保全に対して真面目で真摯だけでなく、遊びややさやかな寛沢も含まれておりまた男女問わず広い世代が楽しみ触れる事が出来る内容だったと思います。

19

ツアー評価コメント(霧ヶ峰)※回答時にコメント入力があったもの

地元に住ながら霧ヶ峰についてあまりにも知識がなかったことを痛感しました。外来種の駆除ができた上にガイドツアーにも参加できとても充実した時間を過ごせました！手袋、ハサミ、軽食、麦茶を用意していただいたので作業に集中でき助かりました。	普段目にする植物が、外来種であったり、それらが在来種や生態系に与える影響について考えるきっかけになったから。
霧ヶ峰には何度か訪れたことがありましたが、その成り立ちや生息する植物について詳しく知ることができ、印象が変わりました。	作業をしながら、「駆除」の困難さとなぜ駆除が必要なのか、在来種とは何かを考えるきっかけとなった。作業自体の楽しみとして、なにか仕掛けがあるとよりよいのではないかと感じた。自然保護センターでの学習は、センター内の楽しみや工夫は勉強になるところが多くあった。今回の作業の必要性や背景などをもう少し深掘りできるとよかった。
駆除作業も、いろいろ質問しながらさせていただいたので、勉強になりましたし、自然保護センター、ガイドツアーもとても面白かったです。	地元民でも知らなかったかことを知ることができた。
普段は「〇〇を見に行く」「〇〇まで歩く」という主目的があり、外来種のことに目を向けていなかったが、かなり繁殖していることがわかり危機感を覚えた。また単独で行くことが多く、ガイドツアーに参加したことはほぼなかったもので、説明が聞けて良かった。	霧ヶ峰には、過去に昨年3月と先月の7月の2回訪れています。その都度雄大な自然に感動を覚えていました。そして今回の8月末のモニターツアーに参加して、目の前に広がる雄大な風景が当たり前のもではなく、沢山の人の努力のうえに成り立っているんだと改めて認識しました。その視点で見るとまた感動もひとしおです。京都市からの参加でしたので、近ければボランティア活動にも参加したいのですが遠距離の移動に伴う時間的制約があり、先ずはできることから、SNSでの発信はしていこうと思っています。
7月末に観光で霧ヶ峰を訪れた時に自然保護センターにて草原が人知れず地域の人々の手によって守られている事を知り、「ただ良い所だなあ」としか思わなかった自分が恥ずかしくなりたまたま体験モニターを知り参加し、少しでも自然保護に協力出来き自然を守る皆様の大変さを知る事が出来た。その後センターで霧ヶ峰の学習、ガイドツアーでは鹿への対策のご苦労、キツネのフンにプラスチック(ゴミ)が混ざっている現実の説明を受けながらの散策と、これから先「自分は今まで以上に自然を大切に生きたい」と心新たに誓う事が出来た今回の体験モニターに大変満足致しました。	ガイドツアーの説明はとても丁寧で有り難かったのですが、もう少し先まで行きたかったです。
地元にいるが足を運ぶ機会がなかった自然保護センターは見応えがあった。ガイドツアーと共に霧ヶ峰について新たな発見が多々あり、とても興味深かった。外来種駆除作業は大変で、あまり刈り取る事が出来なかったのが残念だった。	専門的な知識を持った人から話を聞くことで、見方が変わるし、ためになる。外来種駆除作業も、ほんの少しでも役に立てたなら嬉しい。
あいにくの霧がすごい天気でしたが、短い時間でも駆除作業ができ、よく観察する事ができた。もう少しやりたいた気分でした。雨降りのためガイドツアーはできませんでしたが、その分センター内でじっくりワークショップで学ぶ事ができ、おにぎりも美味しかったです。	雨の影響でワークショップとなったのが残念だったが、自然に対する考え方が変わるきっかけとなりました。外来種の説明を受けた後、作業の帰り際に本当に往來の多い場所に沢山生えていたことに気付く、こうやって変化してくものかと驚いた。
基本的に自身の持ち物での持参で可でしたので、参加のハードルが低く良かったです。得に軽食を用意していただけたのはかなり助かりました。また、悪天候でかなり霧が出たので、バスで送迎いただけたのも安心感がありました。一方、今回は駆除作業が短時間でしたのでちまたが、天候（暑さ、寒さ等）によっては、作業後のガイドツアーは、普段活動馴れしていない人にとっては体力的に少し大変な印象を受けました。	動物や植物の単純な説明だけではなく、どうしてそうなっているかや見分け方など、見方が変わる話を講師がしていたのが良かった。次からは意識して見れると感じました。

20

実施記録 諏訪湖(6/28・7/27)



21

実施記録 諏訪湖(6/28・7/27)



22

実施記録 霧ヶ峰(8/30・9/20)



23

実施記録 霧ヶ峰(8/30・9/20)



24



長野県諏訪地域振興局 自然保護体験モニターツアー（諏訪湖編）

モニターツアー参加者募集

開催日：2025年6月28日（土）・7月27日（日）
※順延時の振替：7月5日（土）・8月2日（土）

諏訪湖の環境を維持するには、自然保護活動が欠かせません。この関わり手の増加を目指して、地域資源と組み合わせたツアーを実施し、参加者に評価いただく取組です。

■ツアー日程

8:00 集合・作業説明

↓

8:30 自然保護作業

↓

10:30 諏訪湖に関する学習

↓

11:20 休憩・軽食

↓

12:00 温泉入浴

↓

13:00 解散（予定）

カヤックに乗って
ヒシメリ！

諏訪湖を一望
展望温泉！

■申込方法

お申し込みは、下記QRから
（なかの電子申請サービス）



※参加に関する詳細は裏面を
必ずご覧ください。

※応募多数の場合は抽選となります。

主催：長野県諏訪地域振興局
協力：株式会社アポルタ、株式会社ホテル紅や、一般社団法人諏訪観光協会、諏訪湖環境研究センター
後援：諏訪市、諏訪市教育委員会、信濃毎日新聞社、長野日報社、信州・市民新聞グループ

お問合せ先 諏訪地域振興局 環境課 TEL:0266-57-2952

自然保護体験（諏訪湖編）モニターツアー

諏訪湖畔でカヤックに乗ってヒシメリを体験し、諏訪湖を一望できる展望温泉に入浴していただきます。参加後、WEBアンケートへの回答、参加時の様子などを自身のSNSに投稿していただくものです。

【開催日】2025年		【日程】	
第1回	6月28日（土） [荒天時予備日：7月5日（土）]	8:00	集合・作業説明
		8:30	自然保護作業
第2回	7月27日（日） [荒天時予備日：8月2日（土）]	10:30	諏訪湖に関する学習
		11:20	休憩・軽食
		12:00	温泉入浴
		13:00	解散（予定）

【開催場所】
諏訪湖畔及びActivity Base Cogue（諏訪市湖岸通り2丁目7-21）
※集合場所は、Activity Base Cogueになります

【参加費用】
無 料 ※開催場所までの交通費等は、各自ご負担いただきます

【募集定員】
各回20名

- 【参加条件】
- ・小学校4年生以上の健康な方で、疾患等により温泉入浴が困難ではない方（小・中学生が参加の場合、大人の方とペアで乗れるカヤックでの体験作業となります）
 - ・メール送受信が可能で、実施後のWEBアンケートに回答いただける方
 - ・モニターツアー参加時の様子などを、ご自身のSNSで投稿いただける方

【申込方法】
ながの電子申請サービス(<https://x.gd/h7BEt>)から申し込みください。
（スマートフォンから申し込みの場合、右上にあるQRコードをご利用ください）

- ・申込期間は、6月3日（火）午前8時から6月12日（木）午後5時までです
- ・申込期間終了後、事務局からメールにて参加回や詳細日程を改めてご連絡します
- ・定員を上回る応募があった場合、参加者は事務局の抽選にて決定します
- ・抽選となった場合、当選者及び当選しなかった者の双方に、メールにてご連絡します
- ・高校生の単独参加については、後日、親権者からの同意書の提出が必要で

- 【ご参加にあたってのお願い】
- ・参加者確定後、持ち物については別途ご連絡致しますが、作業で濡れることが想定されます。必要に応じて着替えなどをご持参ください
 - ・お車でお越しの際、諏訪湖畔の無料駐車場をご利用ください



申込フォーム

主催：長野県諏訪地域振興局
協力：株式会社アポルタ、株式会社ホテル紅や、一般社団法人諏訪観光協会、諏訪湖環境研究センター
後援：諏訪市、諏訪市教育委員会、信濃毎日新聞社、長野日報社、信州・市民新聞グループ

【お問合せ】諏訪地域振興局 環境課 TEL:0266-57-2952

募集時案内



長野県諏訪地域振興局 自然保護体験モニターツアー(霧ヶ峰編)

モニターツアー参加者募集

開催日：2025年8月30日(土)・9月20日(土)

霧ヶ峰の環境を維持するには、自然保護活動が欠かせません。この関わり手の増加を目指して、地域資源と組み合わせさせたツアーを実施し、参加者に評価いただく取組です。

■ツアー日程

- 8:00 上諏訪駅 集合
↓
8:45 自然保護作業
↓
11:00 霧ヶ峰に関する学習
↓
11:30 休憩・軽食
↓
12:20 ガイドツアー
↓
14:30 上諏訪駅 解散(予定)

■申込方法

お申し込みは、下記QRから
(なかの電子申請サービス)



※参加に関する詳細は裏面を
必ずご覧ください。
※応募多数の場合は抽選となります。

主催：長野県諏訪地域振興局
協力：一般社団法人諏訪観光協会、霧ヶ峰自然保護センター
後援：諏訪市、諏訪市教育委員会、信濃毎日新聞社、長野日報社、信州・市民新聞グループ

お問合せ先 諏訪地域振興局 環境課 TEL:0266-57-2952

募集時案内

自然保護体験(霧ヶ峰編)モニターツアー

霧ヶ峰高原で外来種植物の駆除体験をおこない、その後、専門家によるガイドツアーへ参加していただきます。参加後、WEBアンケートへの回答、参加時の様子などをご自身のSNSに投稿していただくものです。

【開催日】2025年

第1回 8月30日(土)

第2回 9月20日(土)

※同日ともに雨天決行です(日程変更します)
※台風などの荒天時には、中止となります

【日程(晴天時)】

- 8:00 上諏訪駅集合・出発
8:45 自然保護作業
11:00 霧ヶ峰に関する学習
11:30 休憩・軽食
12:20 ガイドツアー
14:30 上諏訪駅 解散(予定)

※雨天時は作業を中止し、短時間の散策とワークショップを予定しております

【開催場所】
霧ヶ峰高原及び霧ヶ峰自然保護センター(諏訪市四賀霧ヶ峰7718-9)

【参加費用】
無 料 ※集合場所までの交通費等は、各自ご負担いただきます

【募集定員】
各回20名

【参加条件】
・小学校以上で、緩斜面を歩行できる方

- なお、小学生が参加される場合、成人の方の同伴者としてお申込みください
(障がい・特性等により一定の配慮を要す場合は、申込時に併せてお伝えください)
・メール送受信が可能で、実施後のWEBアンケートに回答いただける方
・モニターツアー参加時の様子などを、ご自身のSNSで投稿いただける方
(SNSを利用されている場合)



申込フォーム

【申込方法】

- ながの電子申請サービス(<https://x.gd/vq0zq>)から申し込みください。
(スマートフォンから申し込みの場合、右上にあるQRコードをご利用ください)
・申込期間は、7月1日(火)午前8時から8月1日(金)午後5時までです
・申込期間終了後、事務局からメールにて参加回や詳細日程を改めてご連絡します
・定員を上回る応募があった場合、参加者は事務局の抽選にて決定します
・抽選となった場合、当選者及び当選しなかった者の双方に、メールにてご連絡します
・中学生及び高校生の単独参加には、後日、親権者からの同意書の提出が必要です

【ご参加にあたってのお願い】

- ・参加者確定後、持ち物については別途ご連絡致しますが、雨天や濃霧により滞ることが想定されます。雨具・必要に応じて着替えなどをご持参ください
・集合場所まで自家用車で移動をお考えの方は、バスの発地となる諏訪合同庁舎西側駐車場(諏訪市上川1丁目1644-10)へ7:40までにお集まりください。無料にて駐車が可能です。

主催：長野県諏訪地域振興局
協力：一般社団法人諏訪観光協会、霧ヶ峰自然保護センター
後援：諏訪市、諏訪市教育委員会、信濃毎日新聞社、長野日報社、信州・市民新聞グループ
【お問合せ】諏訪地域振興局 環境課 TEL:0266-57-2952